

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	6	事業名	がんばる新農業人支援事業費
------	---	-----	---------------

1 基本情報

実施日／班名	10月15日 第2班	時間	10:25～11:23
担当課名	経済産業部 農業振興課	事業費	16,129千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)					
県実施 (一部見直し)	判定区別	行政関与不要	0	国・市町実施	1		
		行政関与必要	⑱			県実施	⑰
				一部見直し	⑪		
	現行・拡充	5					
	判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)					
・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき				4			
・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき				3			
・サービス受給者の自己負担について見直すべき				3			
・他の事業との関係を整理すべき				3			

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p><国・市町実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特区を利用し、農地を市町が借り上げ、新規農業を参加者に又貸するほうが良いのでは <p><県実施(一部見直し)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修者の立場から考えると、ある程度の貯蓄が無いと、チャレンジが出来ないと思います。他の施策、農業トライアル支援事業には5億円もかけ給料が出るのに、本当に農業でがんばりたいと思う人に給料が出ないのはいかがなものでしょうか。 ・ 地域が限られているのに不公平を感じます。 ・ 私はまさに脱サラ農家で、このような事業には関心があります。専門委員の方も言われていましたが、イチゴ、トマトにこだわりすぎと思います。また、施設農業はコストもかかります。その辺が少し抜けている感がありました。 ・ 研修生にも相当な資金が必要と思う。資金手当てはどうか。 ・ 本来、市・町がやるべきテーマと思う。地元のきめ細かい施策(土地確保等)が必要で、県は市町を指導し、その補助を行うスタイルが良いと思う。 ・ 自分の住んでいる周りで、後継者のない農家がたくさんいる。もっと県が市と連携して、後継者作りのPRをすべきと思う。 ・ 県農業従事者が減少(15年で30%)しているのは深刻である。 ・ 収益性の良いイチゴ、トマト以外をどうすべきか、県は大局に立った施策(イチゴ、トマト等収益性のあるもの以外)が必要である。 ・ 体験(6ヶ月)事業にお金をかけるより、研修(1年間)の方達のために事業費を使ったらどうか?(1年間の

研修期間中の生活費は研修者の自己負担がほとんどということなので)

- ・ 強制はしていないがイチゴ・トマト等の今の流れでは決まりきった作物に偏りがち。
- ・ 特定の地域に限られているようですので、市町が実施でもと思いましたが、市町の財政では厳しいと思い、今までどおり県が実施と判断しました。県から補助金をいただいて、市町、団体が実施できればその方が事業の効率化が図れるのではないのでしょうか。
- ・ 農業を守ることは自然を守ることであり、私たちの健康・暮らしを守ることです。これからは、農業を営む人だけでなく、農業の恵みを受けている人みんなの協力が必要だと思います。地域の人みんなで農業を支えていくということが「農業をみんなで支えていく」という意識につながっていくのではないのでしょうか。この事業を応援させていただきます。
- ・ 地域受入体制が整っている場合には、うまく動いている気がします、そこからどのように他地域に拡大していくのかは不明な感じがします。

<県実施(現行・拡充)>

- ・ 生産品にもう少し幅を広くしていくことが必要だと思います。静岡県は、天候等々が大変良いところであるから、静岡県はいかなる品名でもやれば、給料とりと同じように生活ができるようになればと思います。
- ・ イチゴ、トマト以外にも増やしてはいかがでしょうか。
- ・ 静岡に県外から就農希望される方の魅力を知れば、種類(農品目)も含めて拡大できるのではないのでしょうか。ビジネス化を推進するときに、既農者と併せて経営する形態はないのでしょうか。できると経営的にも(初期投資は少なくてすむ等)有利とされます。